



みずほ



第 35 号

平成24年 3 月 1 日

発行
岐阜県瑞穂市議会

編集
瑞穂市議会広報編集委員会

市議会だより



▲別府観音の節分風景

平成23年第4回瑞穂市議会定例会(12月)

- | | |
|-------------------------------------|---|
| ●議員定数を削減(19人に) … 2 p | ●請願、意見書 …………… 6 p |
| ●議会基本条例を制定 ……… 4 p | ●一般質問 ～市政を問う～
会派代表質問(7 会派)・個人質問(7 人) … 7 p |
| ●第 4 回定例会(12月)
各委員会審査～本会議 …… 5 p | ●議案の審議結果、議会活動日誌(11月～1 月) …14p |

平成23年第4回瑞穂市議会定例会は、11月29日から18日間の会期で開会した。

本定例会では、市長から提出された議案14件、継続審査となっている請願1件、委員会が提出した条例1件、議員が提出した条例1件と意見書1件などを審議した。

そのうち、議員定数削減検討特別委員会での現状維持の審査結果は否決となり、総務常任委員会に付託されていた請願は不採択となった。その他の議案はすべて原案のとおり可決して12月16日に閉会した。

平成23年第4回瑞穂市議会定例会

議員定数を19人に決定

定数
20人



定数
19人

特別委員会の最終報告は現状維持

当市の議員定数（20人）は、平成14年12月の定例議会において定められたもので、昨今の全国的な議員定数削減に関する動き等を勘案すると、当市においても早急に検討する時期にきていると考えるため、議員定数を検討する目的で、昨年3月23日に議員定数削減検討特別委員会を9人の委員で設置し、5回の委員会を開催した。

委員会の審査では、全国806市や岐阜県下21市のデータを基に、人口・面積・人口密度・議員定数・議員定数の削減率・議員1人当り人口・議員1人当り面積・報酬額等・財政力指数などの状況について調査を行い、市民や各会派からの意見をもとに検討し、今日の社会情勢や瑞穂市の将来のことなど、あらゆる角度から議論し、現状維持や削減などの意見が交わされた。

その結果、特別委員会では、賛成多数で現状維持の20人となり、本会議に報告されることとなった。

現状維持と考える意見

●国の流れの中で、極端なことを言うとは、議員定数を削減するということは、基礎的自治体をなくすこと、道州制に変えていくことである。目先だけのことを言っていると本当に住民自治を実現するための議会というものがなくなってしまう。地方議会人は、もっと危機感を持たなければいけない。定数と報酬は一体で考えなければいけない。金持ちばかりが議員になったら意見が偏るので、普通の人が議員活動に専念できるような生活給を考えた報酬と、そして多様な意見が議会に出るような人数ということを考えたときに、あえて増やせとは言わないが、せめて定数は今の現状を維持すること。

●議員定数の削減は、民意反映の議会の弱体化につながる。地方自治のあり方を考えると、議員の数が減れば、二元代表制の中、議員のチェック機能である議会の力が弱まることになる。次期世代の若い人が議員になれるような夢のある議員の立場をとらなければならぬ。削減の中で一番問われるのは議員の質とともに、市民の立場で市民を主役として考えなければならぬことである。この議員の削減には真つ向

から反対をしたい。

●人口5万人の中で議員定数20人は平均であるが、委員会は定数5人だが、文教常任委員会の場合、現在4人で1人が欠席すると2人だけで議論しなければいけないので、ある程度の人数と民意を反映させるためには、現状のままがいいと思う。

●削減ありきというのではなく、議員定数そのものが今のままでいいのか、それとも構成上問題があるのか。市民が市民がとあたかも市民全体が賛成しているかのような言い方をするが、そうでない意見も聞いている。こんな遅くなってから選挙間際にバタバタと特別委員会を起こしてやること自体があまりにも政治的な判断で瑞穂市の特殊事情でやられたような気がする。何も今回答えを出すのではなく、じっくり慎重審議してやるべきだ。

削減すべきと考える意見

●議員定数の問題は、10年ぐらい前から出ていて少しも前に進まない。毎回の議員に問題を送って自分たちではよう決めない。近隣市町村も定数は削減しているのだから現状維持なんか、もつてのほかである。4人減らしても

れている現状が生じた場合、それは本来の意味で市民の声が、民意が反映されるまちづくりができるのか。多くの市民が望まれる市政・施策の推進に支障を来たすことにもつながる。

瑞穂市は5で15分もあれば端から端まで行ける地理的条件、人口も増える中、定数を16名と削減している自治体もあるが、人口が増えることで多様化するニーズを聞くために19名は必要である。

●国会も財源が足らんで消費税を上げると。国民に理解を求めるに、国会は自分の身を削る定数削減問題をちよつともやらん。

瑞穂市においても議員定数の問題は10年ぐらい前から出ていて、少しも前に進まない。毎回、次の議員に問題を先送りして、自分たちではよう決めない。近隣市町村も定数は削減しているのだから、現状維持なんてもつてのほかである。

討論の後、採決の結果、可否同数となり、議長は可決と裁決した。



いいが、妥当なのは2人減らすべきである。市民感情からいっても通らない。歳費の問題は、定数削減を受けて市長が諮問をしてやられることなので、とりあえず定数は削減でお願いしたい。

●羽島市は早くから人口6万7千人で18人と大幅に減らしていて、関市・岐阜市・大垣市など、各市町もそういう動きに変わっている。瑞穂市の自治会・区長会でもそういう話が相当出てきている。市民は何人減らすのかという話題が多くなってきたので、最低1割は減らさなくてはいいけない。

本会議では削減決定

本会議では、議員定数削減検討特別委員会委員長報告の後、「現状維持」についての採決では可否同数となり、議長は否決と裁決した。

削減する議員定数条例を可決

委員長報告が否決となった後、議員定数を20人から19人に1人削減する条例が提出され、次のような質疑・討論が行われた。

●何のために削減するのか。

●4年以上前から議員定数の削減は話し合われていて、今に始まったことではない。

●会派の中でも、二元代表制の下、削

減は慎重にとの意見もあったが、職員の給与引下げなどこの不景気の中、議員自ら厳しく考えなければならぬ時でもあり、市制10周年を迎え、見直さなければならぬと思い提案した。

●どうして1人削減なのか。

●現在、議員数は1人欠員で19人でも議会の運営ができ、何ら問題はなかった。

また、文教常任委員会の委員会構成は5人でなく4人だったが、委員長として、これまで充分な話し合いがされてきた経緯を感じ、定数19人を押し進めるべきだと提案した。

今後、委員会構成については、さらなる議論を検討し進める必要があると考えている。

削減反対討論

●議会として市長の提案をしっかり議論し、監視をする、チェックをする機能を有しており、それには、多くの議員がしっかりと監視をしていく点では、現在20人で行ってきた審議・監視が有効に働いてきた。19人で何ら支障がなかったというが、20人のときのほうがよかった。何もあえて減らす必要はないのではないか。

●このまちは交通の要衝でありさまざまな方々が住んでいる。そのために議員は少しでも多い方がいい。さまざまなニーズがあるが、執行部には苦情は来るが生の声は届かない。それを誰が吸収するのか。そのニーズを理解し、

削減賛成討論

●仮に市民の過半数以上の方の望む施策が推進されなければならないときに、逆に少数意見の代表者の方が多く出ら

瑞穂市議会基本条例制定!

平成23年12月定例会に議会基本条例検討特別委員会より提出され、可決し、平成24年1月1日から施行されました。

「議会基本条例とは?」

議会基本条例とは、議会や議員の活動、市民との関わりなど「市民に対する議会の約束」として議会の役割と責任を示し、地方議会の憲法とも言える最高規範の条例です。

瑞穂市議会基本条例（前文を抜粋）

市議会を構成する議員は、市長と同じく、市民から直接選挙で選ばれた市民の代表である。

この市議会と市長は、市民の意思を代弁する二元代表制の機関であり、それぞれの特性を活かして、互いに競い合い、協力しながら、市政を担う両輪として市民の負託に応える責務がある。

市長は、市政運営の最高責任者として予算、条例等を提案する強力な権限を有しているが、議会には、提案された予算、条例等が市民福祉の向上に繋がるかを市民の目線にたって審議し、監視しなければならない。

さらに、議会は、公正性、倫理性及び透明性を保ち、市民の声をよく調査、研究し、議会と議員の権限を活かして、市政の発展と豊かなまちづくりの実現に努めなければならない。

ここに議会は、自由かつ達な議論を保障し、市民の負託に応え、市民に開かれた議会及び市民参加を推進するために、この条例を制定する。



瑞穂市議会基本条例の主なポイント

① 市民との意見交換の場を開催・・・第5条関係

市民への情報公開と開かれた議会運営をしていくため、議会運営の報告を行うとともに、市民の多様な意見を拝聴するため、議員と市民が自由に情報や意見を交換する場として、意見交換会を年1回以上開催することを定めています。

② 一問一答方式と反問権の付与・・・第7条関係

議員から市長等に対して行う一般質問は、市政の課題に関する論点や争点を明確にするため、一問一答方式で行うことを定めています。
また、これまで質問は、議員から市長等に対してのみでしたが、活発な討議がなされるように市長等から議員に対しても質問ができることを新たに決めました。

③ 重要政策及び予算決算審査の強化・・・第8条、第9条関係

厳しい財政状況が続く時代において、市長等の重要政策及び執行した事業の効果を十分に審査し、適正な予算編成に繋げるため、審査にあたって、市長等に必要な資料の提出を求めることを定めています。

④ 議員間での自由討議・・・第11条関係

議会は合議制の機関として、その意思決定にあたっては、本議会や委員会においては、議員間での公平で自由な議論を重視した議会運営に努めることを定めています。

※ 瑞穂市議会基本条例は、瑞穂市ホームページより閲覧できます。

平成23年

第4回定例会(12月)

12月定例会は、11月29日から18日間の会期で開会した。

本定例会に市長から提出された議案は14議案でした。11月29日には、上程した議案の提案説明がされた後、人事案件など2議案については、委員会付託を省略して、その日に質疑・討論・採決を行った。残りの議案については、12月5日に議案に対する総括質疑を行い、その議案を各常任委員会に付託し、委員会にて審査した。(議案内容は、広報みずほ1月号をご覧ください)

11/29

本会議
議案の提案説明

12/5

本会議
議案に対する総括質疑
議案を各委員会に付託

12/8
12/6

各委員会審査
(質疑・討論・採決)

12/13
12/12

本会議
一般質問

12/16

本会議
委員長報告
質疑・討論・採決

文教常任委員会

文教常任委員会に付託された議案は次の1議案で、その結果と主な審査内容は次のとおりでした。

結果	議案名
可決	指定管理者の指定について

指定管理者の指定について

可決

執行部からは、うすずみ研修センターは、平成9年に竣工し、若干の老朽化をしている。平成22年度の利用実績として、581人・20件の利用があったが、瑞穂市としての利用はなかった。今後どうするのか検討しなければいけないとの説明があった。

交通アクセスの点から考えても誰が利用するのか、当初からわかっていない。政策的な誤りであることが包括外部監査の報告にもあるように、やっと評価された。1億円が無駄になった。この施設は、2年経ったら本果市に移管し、打ち切らなければいけないがどうするのか。

これは相手があることなので、まず瑞穂市としての方向を決めて本果市と協議を重ね、両方の議会に議決をお願いする方向で進めていきたい。

包括外部監査結果として「本果市へ移管したほうが良い」とあり、市の措置状況では「当面は現状を継続する」

賛成討論

本議案の2年間の指定管理者の指定は認めるとしても、2年先には移管にあたって無償・有償などどうするのかの論点をリストアップをし、その根拠を明確にし、よりよい方針の選択をお願いしたい。

委員会では、その後討論なく、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決され、本会議に提出されることとなった。

厚生常任委員会

厚生常任委員会に付託された議案は次の4議案で、その結果と主な審査内容は次のとおりでした。

結果	議案名
可決	農村地域工業等導入促進法に係る瑞穂市固定資産税の特例に関する条例を廃止する条例について
可決	瑞穂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
可決	平成23年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

平成23年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

可決

医療制度改正で医療機関に受診した際に100円が上乗せされると聞くと内容はどうか。

平成24年度に診療報酬改定の基本方針が示された。その内容は、社会保障と税の一体改革を踏まえたもので、介護保険との役割の明確化、連携の強化などとなっている。受診時定額負担についても、この一体改革の中で審議されている。今後のスケジュールを考えると平成24年1月末までに示される模様であるが、まだ詳細な事は分かっていない。

委員会では、その後、討論なく、採決の結果、全会一致で原案のとおり認定され、本会議に提出されることとなった。

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会に付託された議案は次の2議案で、その結果と主な審査内容は次のとおりでした。

結果	議案名
可決	瑞穂市地区計画区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例について
可決	平成23年度瑞穂市水道事業会計補正予算(第3号)

平成23年度瑞穂市水道事業会計補正予算(第3号) **可決**

執行部より補正の主なものとして、岐阜市と職員1名の人事交流を行っており、これに伴う給与等の差額分を負担金として支払っているが、その額が確定し、300万円増額の必要が生じたための予算措置と、当初予算で計上した管路工事において、口径100mmで拡張工事を計画したが、現在策定中の「幹線管路網計画」において、口径150mmとする必要性が考えられるため、翌年度の施工予定に変更するため、これに係る工事費及び設計委託料3805万8千円を減額するものとの補正説明があった。

委員会では、その後、質疑、討論なく、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決され、本会議に提出されることとなった。



結果	議案名
可決	瑞穂市暴力団の排除に関する条例の制定について
可決	瑞穂市附属機関設置条例の一部を改正する条例について
可決	瑞穂市情報公開条例及び瑞穂市個人情報保護条例の一部を改正する条例について
可決	瑞穂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
可決	平成23年度瑞穂市一般会計補正予算(第4号)
不採択	地区公民館補助金増額に関する請願

平成23年度瑞穂市一般会計補正予算(第4号) **可決**

この議案について、各常任委員会でも所管部分の協議をした結果、総務常任委員会への意見はなく、総務常任委員会では、主に次のような質疑があった。

（乳幼児等医療費）
この制度は、当初1億円程度を予算

総務常任委員会
総務常任委員会に付託された議案は次の5議案と請願で、その結果と主な審査内容は次のとおりでした。

結果、全会一致で原案のとおり可決され、本会議に提出されることとなった。

人権擁護委員の推薦
現在、植田作治氏の任期が3月31日に満了となることから、引き続き同氏を推薦するにあたり議会の意見を求めるもので、議会は全会一致で適任とした。

植田 作治 別府 (敬称略)

請願書

平成23年第3回定例会(9月)で継続審査となっていた請願は、次のとおりでした。

件名「地区公民館補助金増額に関する請願」

審議結果 不採択

委員会の意見 市内各自治会の公民館建設の経緯と、自治会・校区・地域における自治会公民館と公共施設とのあり方など、地域全体の状況を考慮すると、補助率は今まで通りの1/3補助とする。

意見書

本定例会に提出された意見書は1件でした。

・災害に強い日本の構築に向けた社会資本整備を求める意見書について

想していたが、今では年々増加し、市の単独事業分で1億4千万円かかっている。全般的な子どもにかかる予算を考えた場合、削れるところは削り、全体的な子どもへの施策を提案して市民に理解を求め、所得制限をかけたかどうかと思うが。

（A）医療費があまりにも増えるのであれば考えていかなければいけない。例えば、所得制限など検討する余地があるのではないかと思っている。しかし現状では、その動向を見守っている状況である。

（花塚排水機場）
（Q）花塚排水機場の改修工事で1億2千万円も減額になっているのはどうしてか。

（A）色々検討した結果、当初設計していた陸上型から水中型のポンプに変更したことと配電盤を安いメーカーにしたことによって安価にできるようになった。

（Q）安ければいいのではなく、性能の保障や安全面はどうなのか。

（A）昨年度、西濃環境整備組合の北側で、揖斐農林事務所が同様な規模の排水機場を建設した。そこも水中ポンプを使用しており、能力的にも問題はなく、コスト的にも安いということ、で、区長・操作員と共に現地を視察した。多少、水中のため経年劣化は早くなるが、その点も含めて考慮しても費用的にも信頼性もあるので採用した。

これら質疑の後、討論なく、採決の



日本共産党瑞穂市議員団 小寺 徹議員

清流会への補助金を再提案するのか
この議会では、私としては提案をしない

（Q）清流会から保育所建設の補助金を再提案するよう陳情書が提出されている。市長は再提案するのか。

（A）市長 清流会の保育所の関係は、この議会では、私としては提案をしないと判断をした。

（Q）社会福祉法人清流会の加納精一氏は、9月議会に

瑞穂市土地開発基金の執行について

（Q）牛牧団地北の児童待避用地が取得された。これに土地開発基金が活用され9月議会の補正予算の議決以前に、土地売買の契約、契約金額の引渡しがされた。議会軽視ではないか。

（A）副市長 市長の裁量で公共用地に資する場合、緊急性や、地権者の意向に沿って、議会に諮らずとも、あらかじめ土地開発基金で購入して、一般会計ではそれを買い戻すという予算計

傍聴席から拍手をする、やじる、議員に話しかけるなど傍聴規則違反があった。教育長はこの行為をどう思うか。

（A）教育長 保育園の経営に参画する園長という立場でもあるが、この傍聴する態度が、傍聴の規則に違反していたのは確かなので、議場内において傍聴規則を



▲老朽化した牛牧第1保育所

上である。9月議会の会派説明会や、総務常任委員会の説明で土地開発基金を使い契約していることも話したが、基金の運用の仕方について、もう少し詳しく説明していれば、誤解が生じなかったということは反省している。今後、基金を使う場合は、十分に説明をしながら執行していきたい。

火事災害による火災の減免について

（Q）火事災害の被害を受けたとき、市税の減免の対象



公明党 若井千尋議員

市内小中学生の登下校時の安全について
子どもの命を守るために、全市を挙げて取り組んでいる

（Q）特に自転車通学の生徒に対して学校側の指導体制は。

（A）教育長 ヘルメットを必ず被る、かばんは必ず荷台に縛る、その他交通ルールを守って安全に通学することを毎年指導し、違反した場合、反省文、許可取り消しと段階を経た指導や、違反報告書により改善を求める指導を実施している。自転車は、被害者になる

（Q）災害時の地域住民のリーダーとして市職員に「防災士」の資格取得を。

（A）総務部長 今年度は、3名の総務課防災担当の職員を受講させる予定である。今後、他の職員や、地域の防災リーダーを担う消防団員等の資格についても検討したい。そして資格取得後は、自治会への指導につい

市民の安全・安心のまちづくりを目指す観点から

（Q）市内を走る公用車に民間企業の広告を提案。

（A）企画部長 公用車は相対的な距離を移動しており、広告効果は非常に高いと考えているが、市民の皆様の

（Q）危険で問題のある通学路はないか。カラー舗装の幅に統一性がない。かえって危険ではないか。



▲穂中北側市道のカラー舗装道路

て、地域の防災訓練や出前講座、自主防災組織の立ち上げ等の各種支援等に積極的に関わっていききたい。

瑞穂市の自主財源の確保について

その他の質問
・住宅火災警報器の設置状況(義務化から半年が経過をして)

会派代表質問



民主党瑞穂会
松野藤四郎議員

災害時におけるガレキの処理は

災害廃棄物処理計画を
策定し、計画的に進める

環境水道部長

大規模災害発生の際の市内の被害想定とガレキの処理方法は、

【総務部長】 県による被害想定調査によると、内陸型地震での当市の被害予想は、全壊800戸、半壊2800戸、死亡者70人、負傷者3150人である。

【環境水道部長】 県の被害想定を基にすると約23万トンの廃棄物が発生する。災害廃棄物処理の基本方針

として①衛生的な処理②迅速な対応③置き場の適正配置④有害物飛散防止等の環境への配慮⑤リサイクルの推進⑥作業に係る安全の確保がある。処理方法としては、リサイクルへの分類を徹底させたい。この場合、仮置き場へ搬入し処理が完了するまでに3年かかると想定している。

【防災無線機器の不良時の購入については、不動産会社より紹介を受け、将来を見据えての購入である。

【3歳未満時受け入れはなぜ全保育所でできないのか。】

【総務部長】 停電の場合は、3日程はバッテリーで持つ。消防団や行政も無線があるのでそれを活用する。

【東日本大震災時のガレキはなぜ受け入れられないのか。】

【環境水道部長】 当市の一般廃棄物の最終処理処分場は廃止の手続き中であり、受け入れは難しい。

保育所の整備について

【総務部長】 現在、各教育施設等を調査している。現地調査が終了し整備計画を策定する段階である。

【環境水道部長】 県の被害想定を基にすると約23万トンの廃棄物が発生する。災害廃棄物処理の基本方針

【教育次長】 3歳未満児の受け入れには、乳児室、給食設備、年齢に対応したトイレ・沐浴室等の設置が義務付けられている。また、保育士の確保が困難なのも理由の一つである。



▲老朽化した穂積保育所

【その他の質問】

- ・放置されているバスについて
- ・宅地開発等に伴う道路背割り水路部の後退の扱いについて

会派代表質問



改革
熊谷祐子議員

就学前施設の定員計画は

まだ定員計画はできていない

教育次長

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

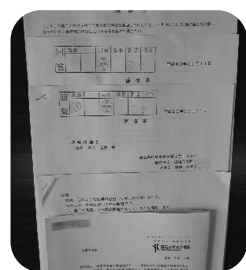
【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】



▲清流会関係の文書5通

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

会派代表質問



瑞穂市民クラブ
山田隆義議員

障がい者施設の整備計画は

社会福祉分野の各機関と
連携を取り、計画を立てる

市長

【精神・身体・知的障がい者の人数は。】

【福祉部長】 身体障害者手帳の保有者は1500名程、精神障害者保健福祉手帳は200名程、療育手帳は300名程である。

【障がい者が学校を卒業した後に、自立できる生活を援助するために、グループホーム、ケアハウスが必要だが、その整備計画はどうか。】

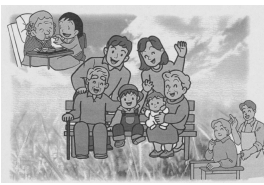
【福祉部長】 障がい者の意見を把握し、施設等の整備計画はあるのか。

【福祉部長】 当市には、総合センター内に福祉センタリーが、また老人福祉センタリーの二つの施設があり、福祉会館の機能を持つ施設と考える。今後両センタリーを検証し、機能やあり方などを見直し、検討していきたい。

【都市整備部長】 現在、商工会の業務に特に支障がなく、今のところ計画はない。

【その他の質問】

- ・下水道環境対策について
- ・美来の森 ごみ処理について
- ・企業誘致について



会派代表質問



みづほ会
堀 武議員

国旗、市旗の位置付けは

国旗、市旗の意義を理解させ、尊重する態度を育てる

教育長

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

【教育現場における国旗（国歌）及び市旗は、どのように位置付けられているのか。】

市の花「アジサイ」について

【市の花「アジサイ」について】

【市の花「アジサイ」について】

【市の花「アジサイ」について】

【市の花「アジサイ」について】

【市の花「アジサイ」について】

【市の花「アジサイ」について】

【市の花「アジサイ」について】

【市の花「アジサイ」について】

【市の花「アジサイ」について】



▲糸貫川右岸堤防未整備部分のアジサイロード

【市の花「アジサイ」について】

【市の花「アジサイ」について】

【市の花「アジサイ」について】

【市の花「アジサイ」について】

【市の花「アジサイ」について】

【市の花「アジサイ」について】

会派代表質問



新生クラブ
森 治久議員

Q 瑞穂市が今以上に発展・発達するために、又10年、20年先を見据えた瑞穂市の将来ビジョン・未来像を考える上で、存続が危ぶまれる樽見鉄道への対応・支援として活用等の考えは。

A **市長** 樽見鉄道の延べ利用者は約年間60万人で瑞穂市は延べ8万人で要する補助は1千万円である。それに比べてみずほバスは3路線で延べ5万人で4千何百万円使っている。この鉄道の廃止云々は、本果市次第である。

Q 瑞穂市・本果市・北方

合併10周年の記念式典・記念事業について

Q 合併して10周年を向かえるにあたり、市としての節目であり、また今後の10年、20年先の瑞穂市の躍進のためにも市として記念式典・記念事業を計画されるべきと考えるが、その考え

樽見鉄道の今後と発展性のある瑞穂市の未来像は

市長 本果市が存続の意向であれば、**市** 当市も支援していきたい



▲樽見鉄道の横屋駅

いずれにしても、広域の中でしっかりと協議する問題ではないかと思う。

その他の質問

- ・市街化区域における総合的インフラ整備計画について
- ・牛牧排水機場の整備計画について
- ・県道美江寺・西結線他県道・国道の整備計画について

個人質問



土田 裕議員

Q 地場産物利用の現状は。

A **教育次長** 一昨年より地元の野菜等を使っている。特に今年度からは、商工農政課と連携し、地元JAの協力により生産農家の紹介や生産調整を行ってもらい、より多くの食材を取り入れるようにした。

Q 今後、季節的な食材をさらに増やしたい。

A 冷凍食品、輸入・加工食品、カット野菜使用の現状は。

A **教育次長** 食の安全・安心というのを第一の目標に、また地産地消のもと、食品の選定を行っており、

市職員の市議会議員立候補活動について

Q 正月で親戚の集まりに立候補の挨拶をする事はよいのか。

A **総務部長** 立候補の挨拶はできない。

Q 忘年会、自治会の集まりに立候補の挨拶をする事はよいのか。

A **総務部長** 立候補の挨拶はできない。

学校給食について、当市における食に関する指導計画と基本計画は

教育次長 市では、平成22年度に食育推進計画を策定した



▲給食センターの調理風景

まず岐阜県産を使う。その次に近隣の県のものを使う。国内産を主に選定しているが、輸入食品も若干ある。

Q 放射線照射食品の検査のため大垣市南部学校給食センターに導入している放射線量が測定できる簡易検査機器の購入はできないか。

A **教育次長** 給食食材の残留濃度を計る測定器だが、測定には食材1品目20分程度かかり、給食センターでは、1日に何十種類の食材を使用するため実用的ではない。

Q 一般流通における物資は産地や流通業者によって規制や検査が行われており、安全であると考えている。放射線測定器が、空気中の濃度測定器を学校授業の一環として使いたいとの要望があり、新年度で購入したい。

市職員の市議会議員立候補活動について

Q 正月で親戚の集まりに立候補の挨拶をする事はよいのか。

A **総務部長** 立候補の挨拶はできない。

Q 忘年会、自治会の集まりに立候補の挨拶をする事はよいのか。

A **総務部長** 立候補の挨拶はできない。

個人質問



若園五朗議員

Q 11月下旬に瑞穂市田之上の市道で、登校途中の男子中学生が乗用車にはねられて死亡した交通事故を受けて、通学路の安全対策はどのように考えているのか。

牛牧団地北、道路改良用地取得について

Q 牛牧団地北交差点の児童通学路・待機場所工事(面積73坪、坪26万7千円建物壊し・整地費含む) 1940万円の予算、議会承認を得ずになぜ慌てて土地開発基金を利用して購入したのか。

A **副市長** 先方との用地交渉の中で、早い時点での換金を希望されたため。

Q 土地開発基金を使って道路用地購入をする手法は誰が発案したのか。

A **副市長** 一連の交渉について主張して、市長に報告をし、基金で購入する方向で事務を進めた。

通学路の安全対策は

教育長 子ども達の目線で、いま一度、通学路の安全点検を図りたい

A **都市整備部長** 歩道の整備がされていない主要通学路については、カラー舗装、街路灯の整備を行い優先的に整備している。その他、他防護柵や、信号機の設定等により安全対策を図り、歩道の整備を推進したい。



▲牛牧団地北交差点角の用地

Q 副市長と同じ町内からなぜあんなに高い土地を購入するのかお尋ねがあった。市長裁量権で土地開発基金で土地購入(用地交渉H23・7・12 土地開発基金による支払いH23・9・20)したと言われるがなぜ、坪単価の高い土地購入について議会に事前に相談がなかったのか。

A **副市長** 市長裁量権の範囲で執行された認識しており、基金を使うという意味が、十分理解を得られているという解釈をしていた。会派では逐一説明した記憶があるが、時系列で、もう少し詳しく説明すればよかったと説明責任の部分に欠如していたと反省している。

その他の質問

- ・平成24年度の予算編成方針について
- ・小・中学校のトイレの洋式化の整備について

個人質問



西岡一成議員

Q 社会福祉法人等補助団体に対する調査・指導・監督は行われているのか。

A **福祉部長** 社会福祉法人の運営の適正化については県が実施している。

Q 市は、補助金交付規則の規定により執行状況の調査をすることになっているので、形式的に報告を受けるだけでなく、執行状況についての調査をしたい。

A 清流みずほ幼稚園の加納園長が保護者に出した文書は「安心子ども基金」という今年限りの補助金を利用すると、市が保育所を新設する場合に比べて最大で6億7600万円軽減される。

社会福祉法人等補助団体の指導・監督は

福祉部長 執行内容の疑問点は正したい

とか「それを利用しなければ地方自治法違反」などと、虚偽事実で事情の分らない保護者を議員批判、議会批判へと扇動している。そのやり方は卑怯で許しがたい。従って、その文章中、事実と反する部分を訂正し直した上、保護者に謝罪して再度、加納園長名で保護者宛に訂正文書を出すように手配すべきではないか。

A **教育長** 加納園長から保護者に発信された文書がまだ手元にないので、入手して、不適切な内容等について検討をしたい。

Q 社会福祉法人に対する

計画が煮詰まれば報告したい。



その他の質問

- ・行政の公平性の担保について

個人質問

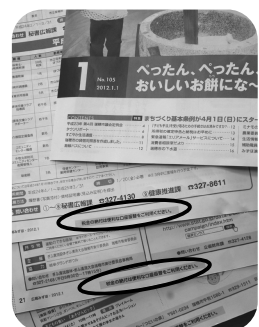


庄田昭人議員

Q 口座振替申し込み手続きについて、行政改革大綱の市民ニーズを迅速かつ的確に捉え、必要な行政サービスを見極めるといわれたがどのように見極めていくのか、副市長の考えは。

A 副市長 口座振替については、納税者が金融機関を介して税を納付するという契約行為である。その契約行為をより確実にする意味で従来の方式があるが、他市や民間でなされている方法を踏まえ、当市でも、従前の確実性を重視するあまりの仕組みが果たして住民ニーズに沿っているかということをお聞きすると、ご指摘のとおり見直す部分があるのではないかとこの感覚を持った。

市民部長 市税の部分についての導入を目指して、現在事務を進めている



▲広報にて口座振替の呼びかけ

安全安心なくらしのために

Q 瑞穂市の安全と安心をどのように確保していくのか。

A 総務部長 防災協定については、できる限り随時結んでいく。福祉避難所については、市内の福祉施設全てと協定を結んでいただきたいということの説明会をさせていただいた。

先般、地震防災マニュアルを配付したが、来年は自治会長、防災リーダー、各

種団体の役員、そしてサブになる方も含めて、校区ごとで地震防災マニュアル等の研究会を行っていただき、そうした中で色々足りない部分、補うべき点を話し合っ

下水道事業について

Q 下水処理施設整備を促進するために、来年度の当初予算に平準化した5億円を下水道整備のための基金に積み立てを入れる考えは。

A 環境水道部長 新年度の財政状況を考慮し当初予算のヒアリング等々で要望予算化を図りたい。

A 企画部長 新年度も財政収入の見込みを見ながら、最低でも前年度並み、1億円は当初に計上して、少しでも準備金として積み立てられるように計画したい。

その他の質問

・督促手数料について

個人質問



棚橋敏明議員

Q 次の各施設の整備計画はどうか。①穂積中学校グラウンド整備②保育所の芝生化③テニスコート移転④保育所の老朽化対策⑤うすずみ研修センターの管理⑥「美来の森」文化施設の継続の牛牧開門の保存。

A 教育次長 ①南側の用地購入を進めていたが、保留し再検討中である。現在は、テニスコートを移転し

教育施設などの整備計画は

それぞれ計画を立て、順次整備したい

グラウンドを拡張したいと考える。②平成24年度に3保育所を芝生化したい。③生津ふれあい広場への移転を検討したい。④施設の維持管理調査を実施中であり、結果に基づいて検討する。⑤包括外部監査で指摘があり、今後2年間で本集市への移譲も視野に入れ検討する。⑥今後検討し、結論を出す。

⑦県とも協議を進め文化遺産として残したい。



▲狭い穂積中学校グラウンド

高齢者の住みよいまちづくりについて

Q 高齢者が利用し易いこみステーションの設置を。

A 環境水道部長 ごみステーションの近場化には、全ての市民に便利となるが、地権者、近所の理解や委託料の増加、当番の早回など問題が多々あり、今後の課題である。

Q 火葬場内へ小規模葬儀斎場の設置を。

A 市民部長 火葬のみの

Q 避難所へ安全に避難できる生活道路の拡幅、水路へのフェンスの設置を。

A 調整監 災害の発生要因ごとに体制作りをしていかなければならない。現在の道路の限られた幅員で安全対策を考えていく。

その他の質問

・職員の仕事ぶりの向上について

Q 情報伝達のために防災ラジオを全戸配布してはどうか。

A 総務部長 防災ラジオは、電波の弱い所もあり欠点がある。現在、NTTのエリアメールを運用できるように準備している。また、防災無線の内容を電話で確認できるように研究し、準備している。

個人質問



広瀬武雄議員

Q 現在の経済状況の下、平成24年度の予算編成における歳入の見込み、及び歳出の考え方は。

A 企画部長 歳入の税収入は、昨年度比で1%の減

企画部長 当市の財政規模を考慮し無理なく背伸びをしない編成とする

収を見込んでおり、十分な財源確保は期待できず、財源の不足は明らかである。基金の取り崩し、有利な起債などを活用していく。

しかし、他市町の状況を踏まえて研究し、検討したい。

皇章君に件環境整備の方針について

Q 警察庁が「自転車は、原則として車道を走る。」との方針を出したが、道路に自転車専用レーンを設けるなど自転車の走行に伴う環境整備の方針は。

A 都市整備部長 幹線道路整備に当たり、3.5mの歩道を計画し、自転車も通行できるように整備を進めている。その他の道路では、国がガイドラインを決めているので、歩行者のための歩道整備を優先的に、い、その中で自転車通行も可能

特に武道、ダンスの男女必修化に伴う授業作りのポイント、安全面への配慮などの準備態勢は万全なのか。

A 教育長 新学習指導要領では、男女ともに武道、ダンスが必修となるが、当市では既に指導計画を策定し先行実施している。

Q 各施設の電気代は年間の位か。

A 総務部長 主な施設として平成22年度は、穂積庁舎は約900万円、果南庁舎が466万円、総合センターは1470万円である。全体としては42施設あり、年間電気代の合計は、1億2500万円程になる。

Q 既に他の官公庁がP・P・S（特定規模電気事業者）と入札を行い電気代を削減しているが、当市の考えは。

A 総務部長 原発の事故等により電気の供給量が十分でない状況であるため、難しいのが今の現実である。

Q 警署が「自転車は、原則として車道を走る。」との方針を出したが、道路に自転車専用レーンを設けるなど自転車の走行に伴う環境整備の方針は。

A 都市整備部長 幹線道路整備に当たり、3.5mの歩道を計画し、自転車も通行できるように整備を進めている。その他の道路では、国がガイドラインを決めているので、歩行者のための歩道整備を優先的に、い、その中で自転車通行も可能



▲剣道をする女子部員

個人質問



広瀬捨男議員

Q 最近局地的な集中豪雨が多くなった。市内を流れる一級河川の改修計画及び市が管理の中小河川の整備計画は。

A 調整監 一級河川の整備計画は3つに区分されており、①木曾川水系犀川、②長良川、③天王川放水水路改修計画がある。

市内のほとんどの中小河川は岐阜県管理の一級河川

治水事業の推進は

牛牧排水機場は国等と協議中

で、市で整備している河川は、都市下水路など排水路が主なものである。

Q 市が管理の排水機場の整備計画は。花塚排水機場の整備は本年度完成予定である。別府排水機場は昭和34年6月完成し、52年経過しているが、整備計画は。牛牧排水機場は昭和32年6月完成し、54年経過しており、起田田川から五六川へ放水している。整備計画は。

A 都市整備部長 別府排水機場は今詳細設計にかか



▲老朽化した牛牧排水機場

Q 平成23年9月の一般質問で市長は「この問題のみでなく3500㎡を何十年も課税がされていない土地があり本当にびっくりしている。私の任期中に解決して次にバトンタッチしたい。」との答弁であった。

執行部のその後の調査では、平成15年3月議会で提

Q 市が管理の排水機場の整備計画は。花塚排水機場の整備は本年度完成予定である。別府排水機場は昭和34年6月完成し、52年経過しているが、整備計画は。牛牧排水機場は昭和32年6月完成し、54年経過しており、起田田川から五六川へ放水している。整備計画は。

A 都市整備部長 別府排水機場は今詳細設計にかか

その他の質問

・住宅用太陽光発電導入に係る補助制度について

議案の審議結果 (平成23年度第4回瑞穂市議会定例会 11/29~12/16)

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、棄…棄権、除…除斥
 新…新生クラブ、共…日本共産党瑞穂市議員団、公…公明党、民…民主党瑞穂会、改…改革、市…瑞穂市民クラブ、み…みづほ会、
 無…無会派 議長は採決に加わりませんので、「―」で表示してあります。(議長 星川睦枝)

議案名等			議員名(会派別) (◎は会派代表者)	議決結果	新					共		公		民		改		市		み		無		議決月日
					◎藤橋礼治	小川勝範	広瀬武雄	棚橋敏明	森治久	庄田昭人	土屋隆義	◎小寺徹	土田裕	◎若井千尋	◎広瀬捨男	松野藤四郎	◎西岡一成	熊谷祐子	◎山田隆義	清水治	◎堀武	星川睦枝	若園五朗	
議員・委員会 提出議案	発第5号 委	瑞穂市議会基本条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	12/16
	発第6号 議	災害に強い日本の構築に向けた社会資本整備を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	12/16
	委員会 審査	議員定数削減検討特別委員会の最終報告の件(委員長報告は定数20人で現状維持とする) ※可否同数で議長裁決	否	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	12/16
	発第7号 議	瑞穂市議会議員定数条例の制定について(議員定数を19人とする) ※可否同数で議長裁決	可	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	12/16
市長 提出 議案	議案第66号	人権擁護委員の候補者の推薦について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	11/29	
	議案第67号	指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	12/16	
	議案第68号	瑞穂市暴力団の排除に関する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	12/16	
	議案第69号	農村地域工業等導入促進法に係る瑞穂市固定資産税の特例に関する条例を廃止する条例について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	12/16	
	議案第70号	瑞穂市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	12/16	
	議案第71号	瑞穂市情報公開条例及び瑞穂市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	12/16	
	議案第72号	瑞穂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	12/16	
	議案第73号	瑞穂市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	可	○	○	欠	×	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	—	○	11/29	
	議案第74号	瑞穂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	12/16	
	議案第75号	瑞穂市地区計画区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	12/16	
	議案第76号	平成23年度瑞穂市一般会計補正予算(第4号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	12/16	
	議案第77号	平成23年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	12/16	
	議案第78号	平成23年度瑞穂市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	12/16	
議案第79号	平成23年度瑞穂市水道事業会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	12/16		
	請願第1号 (平成23年)	地区公民館補助金増額に関する請願	否	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	—	×	12/16		

議会活動日誌

- 11月

1日 議会広報編集委員会
 7日 もとす広域連合議会定例会(最終日)
 10日 中濃十市議会議長会議員研修会(瑞穂市)
 10日 議会運営委員会
 17日 産業建設常任委員会協議会
 17日 文教常任委員会協議会
 18日 総務常任委員会協議会
 21日~22日 市町村議会議員特別セミナー(大津市)
 24日 議会運営委員会
 24日 議員定数削減検討特別委員会(第5回)
 28日 西濃環境整備組合議会定例会
 29日 平成23年第4回瑞穂市議会定例会(初日)
- 12月

29日 議会全員協議会
 1日 もとす広域連合議会臨時会
 2日 議会運営委員会
 2日 下水道推進特別委員会(第7回)
 5日 平成23年第4回瑞穂市議会定例会(総括質疑)
 5日 議会全員協議会
 5日 議会基本条例検討特別委員会(第11回)
 6日 文教常任委員会
 7日 厚生常任委員会
 7日 産業建設常任委員会
 8日 総務常任委員会
 12日 平成23年第4回瑞穂市議会定例会(一般質問)
- 1月

12日 議会全員協議会
 13日 平成23年第4回瑞穂市議会定例会(一般質問)
 13日 議会全員協議会
 14日 土地財産調査特別委員会(第25回)
 16日 議会運営委員会
 16日 平成23年第4回瑞穂市議会定例会(最終日)
 16日 議会全員協議会
 16日 議会広報編集委員会
 23日 議会広報編集委員会
 30日 総務常任委員会協議会